

2年次 進路だより（夏休み号）

令和6年7月30日

北海道札幌英藍高等学校

2年次生の皆さん、夏季休業（7/26[金]～8/25[日]）が始まりました。今年度から少し長くなって、日数にすると31日間となります。この夏休みの過ごし方は、高校生活の充実や進路活動に大きく影響を及ぼします。勉強・部活動・進路活動などに一生懸命に取り組み、充実した夏季休業にしてほしいです。そこで、進路指導部からは次の3点についてお伝えします。

1 夏の過ごし方 ～夏期講習・「解き直し」の重要性～

本校の1・2年次では、英語・数学・国語の3教科で全5回（7/26[金]～30[火]）の夏期講習を実施しています。夏期講習はこれまでの学習の抜け漏れを確認し、内容を定着させることを目的に実施しています。積み上げ教科であり、日本語の読解力を養う「国語」、論理力や計算力を養う「数学」、読解力・思考力を養う「英語」の3教科の基礎力定着はとても大切ですので、真剣に取り組みましょう。

また、スタディサポート・模擬試験の「解き直し」と「抜け漏れ確認」もとても大切です。右図の「伸びる生徒」のように、同じ教材を反復学習することで、定着度合が高まりますので、是非チャレンジしてください。出題の観点や知識の抜け漏れを確認することができるこの取組が進路実現への宝物となります。時間に余裕のあるこの期間で、計画的に実施しましょう。

加えて、休業前に配付された「スタディサポート活用BOOK」も真剣に取り組みましょう。「答を写して〇つけを雑に行い提出→何も頭に残っていない」では全く意味がありません。コツコツと調べたり考えたりしながら解く、という作業が大切です。

14 伸びる生徒の特徴



●伸びる生徒（謙虚に自己点検できる生徒）

先生の話、教材、板書を理解し、自分の理解したことをメモする。（主体的な学習）

同じ教材を反復学習する。（重要事項の徹底）

●伸び悩む生徒（自己流）

黒板に書いてあることを、そのままノートに書き写す。

演習量が不足と言いつつ、（物量主義・ドリル主義）

© Benesse Corporation.

2 敵は自分自身 ～時間の3点固定～

13 時間の3点固定



《ポイント》

時間の3点固定

①起きる時間 ②寝る時間

③勉強を開始する時間



(例)成績を伸ばした先輩の1日

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
平日	起床	朝食	登校				授業				昼食		下校		食事 風呂など				勉強

© Benesse Corporation.

夏期講習で学習レベル（問われる観点）を確認して、朝からの学習リズムを生活に取り込むことで夏季休業を有意義に過ごすことが可能になります。左図の①～③の時間を固定することによって、学習や進路活動に費やす時間・自分で自由に使える時間などを作り出すことができ、生活習慣の乱れを防ぐことによって有意義な生活を送ることができます。

また、この期間は進路実現に向けた様々な取組（教養を身につけるための読書、進路希望先について詳しく調べる、受験科目調べ[確認]等）をする絶好の機会です。今後の目標を具体化・明確化するためにも、様々なことを調べたり考えたりして、取り組んだこと・成果・今後の課題などを記録に残していきましょう。

3 学力の3要素 ～総合探究・オープンキャンパス～

4月に皆さんに進路ガイダンスをとおしてお伝えしてきましたが、ここ最近の総合型（AO）選抜や学校推薦型選抜では、高等学校（担任）が作成する推薦書は「学力の3要素」を踏まえた具体的な取組や実績を記載しなければならないケースが顕著となっています。また、生徒自身の取組の成果として「総合的な探究の時間」での具体的な取組とその学びをとおしてどのようなことを心掛けて将来に反映させようとしているかを面接試験や総合型（AO）選抜のプレゼンテーションの中で伝えるケースが出てきています。

「学力の3要素」とは、

① 知識・技能

知識は当然必要ですが、「技能」は「技術を本番で用いる力」を意味していますので、努力と工夫が必要です。

② 思考力・判断力・表現力

身に付けた「知識・技能」を使いこなすことが求められます。

③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

なかなか解決策を見いだせない問題や課題に対して他者と協力して共に取り組む姿勢を求められることとなります。

進路準備はまだまだ先のことと思っている方は、「他人事」のように思うかもしれませんが、後で後悔しないために自らが主体となり、「自分事」として確実に消化していきましょう。「総合的な探究の時間」での具体的な取組と学習内容を整理し、「問題点・課題」に対する「調べ学習や聴講で理解したこと」を記録に残しておくことが大切です。さらに、各授業内でこれまで実施したグループ（ペア）ワークやパフォーマンステスト等のプレゼンテーションの内容やその活動をとおした学びについても同様に記録として整理しておくことが大切です。

また、どの受験方式で進学をする場合においても、2年生の夏にオープンキャンパス（OC）に参加してほしいです。2年生の夏に行きたい学校を具体化して、目標を明確にすることで、今後の学習・進路活動のモチベーションが高まることを期待したいです。

進学先のことを全然知らないで入学して、

「イメージしていたものと全然違う」

「もっと色々調べて、この学校に行けば良かった」

ということの無いようにしたいですね。

進学先（就職先）は、入ることが目的ではなく、入った後どうするか？が大切です。一生懸命頑張って入ったところを簡単にやめてしまうことは難しいですし、勿体ないですね。そうならないために、この夏にいろいろなことを調べ、いろいろなことを準備してほしいと願っています。